

# Webサイト制作の手順の教科書

まずは確認です。

Webサイト（ページ）  
作成の流れとは？

# 00.依頼を頂いた

打ち合わせ



# 01.ご提案（企画をまとめる）

- ・企画書（企画案）
- ・サイトマップ
- ・見積り

※場合によっては「ワイヤーフレーム」の用意が必要な場合もあります。

# 制作依頼を受諾「制作スタート」



## 02.デザインに必要な素材の作成

### 「必要な素材」

- ・ロゴ
- ・ピクトグラム
- ・アクセスマップ
- ・写真（加エ・撮影・収集）
- ・原稿
- ・その他（SNSやjQueryの動きの素材等々…）

# 03.デザインラフの作成



※必要に応じて「PCのデザイン」だけでなく「スマホ・タブレット」の素材も用意

# ソフトについて



Photoshop



Illustrator



XD



## 04.コーディング

# HTML

# CSS

# HTMLは検索エンジンの為

HTMLは、googleやYahoo!の検索エンジンに対して、「このサイトは何を記述してある」という事をマークアップする為の言語です。

その為にまずは、文法をしっかりと理解しましょう。

# CSSはデザイン（見た目）

CSSは、見た目を作る為の言語です。紙に筆で絵を描くように、CSSというプログラム言語を利用して、Webサイトを描きます。

使い方や特徴をしっかりと理解していきましょう。

# ワンポイントアドバイス

## 覚えるコツは、整理整頓

デザインの話とは違い「覚える事」が多くなります。

そんな時のポイントは、まず「概要」を理解しておきましょう。

学生時代の学校のテストをする訳ではありません。実務でWebページを作ったり、編集したり出来るようになればお仕事として成立する訳です。

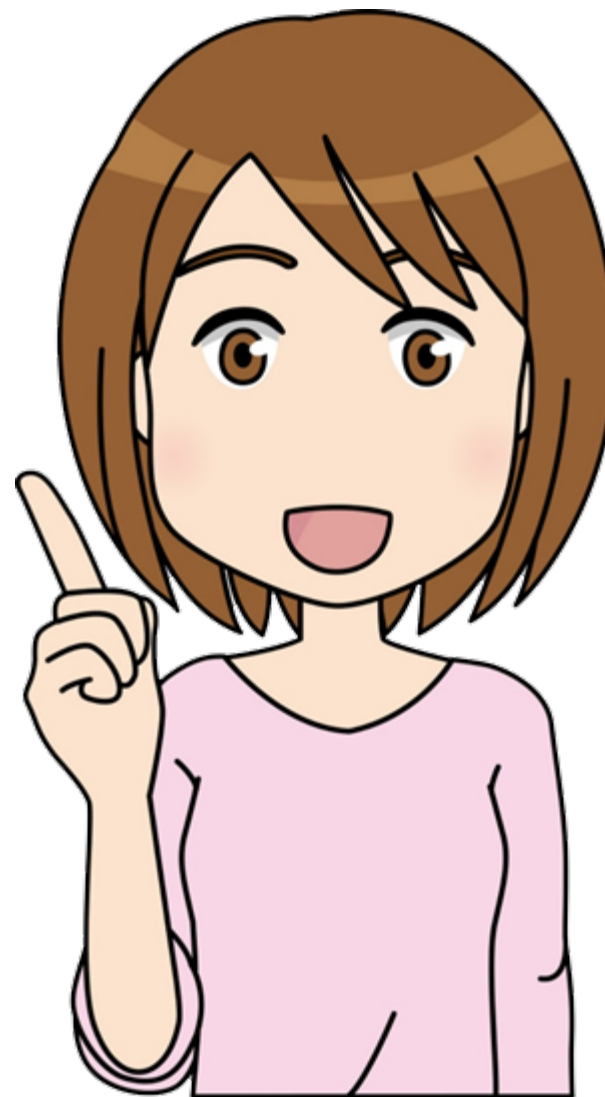
ですので、検索しても良いですし、コピペ（コピー＆ペースト）しても、出来ればよいのです。

メモ書きのサイトを自分で用意するのも良い方法ですので、下記サイトのような、Webサイトを用意して、いつでも使えるようにするという事も大切です。

### ■HTML・CSSのメモ書きサイト

[https://samplesdl.me/training\\_html-css/](https://samplesdl.me/training_html-css/)

- ・2022年9月某日現在の作品です。
- ・現時点で確認済みの、ほぼ全てのブラウザで使えるタグのみを掲載
- ・よく使うスタンダードなタグのみを掲載
- ・ページからコピペ（コピー＆ペースト）出来るように作成してあります。



# コーディングの手順 STEP01

## 【素材の確認】

### ポイント！

- ロゴ
- ピクトグラム
- 写真
- 原稿
- その他（SNSやjQueryの動きの素材等々…）

# コーディングの手順 STEP02

## 【マークアップ】


### 【マークアップ・HTMLファイルの作成①】

「!doctype html」「html」「head」「body」等骨組みのタグを整える



### 【マークアップ・HTMLファイルの作成②】

「h1～h6」「p」「ul,li」「img」「a」等の基本タグで「原稿」と「画像」をマークアップ



### 【マークアップ・HTMLファイルの作成③】

「header」「nav」「main」「section」「footer」等のセクションの部分をマークアップ



### 【マークアップ・HTMLファイルの作成④】

デザインに合わせて「div」や「span」を追加して「id=""」「class=""」を付けていく



### 【マークアップ・HTMLファイルの作成⑤】

検証ツールを上手く使いましょう。

◆参考サイト

<http://www.htmlint.net/html-lint/htmlint.html>

※最初は思い通りにCSSと連動するのは難しいかもしれませんので、元に戻せるようにまめにバックアップを取っておきましょう。

# コーディングの手順 STEP03

## 【CSSでデザインをする】

### 【CSSの記述①】

#### リセットCSSの設定

※CSSを上手くコントロールするためにリセットCSSを設定しましょう。またリセットCSSは育てていきましょう。

### 【CSSの記述②】

セクタ (selector) の記述を先にしてしまいましょう。

例: `#header header h1 {}` 点数計算とセクタの記述ルールに気を付けましょう。

## 【CSSの記述③】

後はひたすらプロパティを書いていきましょう。

コツはデザインの上から作成していきましょう。

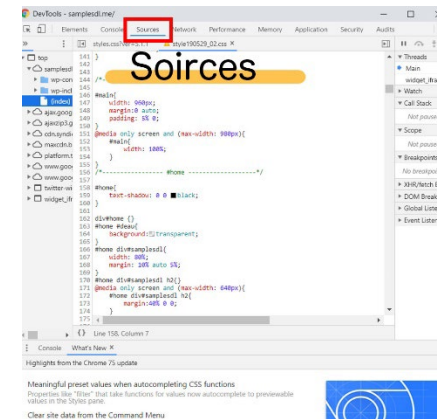
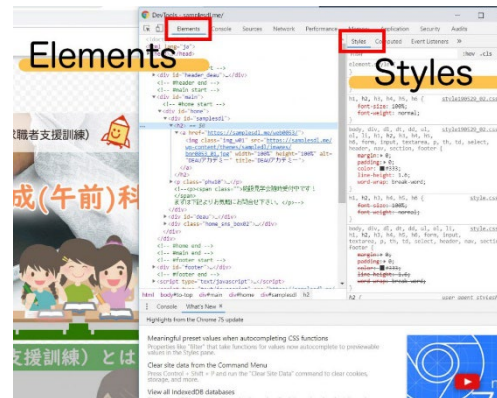
※セレクトタをマークアップと同じ上から書くことによって間違い探しがラクになります。

※リテイク(変更・修正)に強いコードを意識して、「後から使うかも…」のセレクトタまで記述しておくとい良いでしょう。

## ソフトについて



Dreamweaver



デベロッパーツール



## 【CSSの記述④】

スマートフォン対応「メディアクエリ」を足していきましょう。

デベロッパーツールのシュミレーターなどを使って、実機検証を行っていきましょう。



## 【CSSの記述⑤】

・SNSやjQueryの埋め込みは最後に行うのがコツ

※サーバーにUPしないと動かないものもありますので、最後に取りっておきましょう

※最初は思い通りにCSSと連動するのは難しいかもしれませんので、元に戻せるようにまめにバックアップを取っておきましょう。

# コーディングの手順 STEP04

【サーバにテストアップ】



ここでリンク切れや画像の確認・ブラウザやデバイス確認をしましょう。

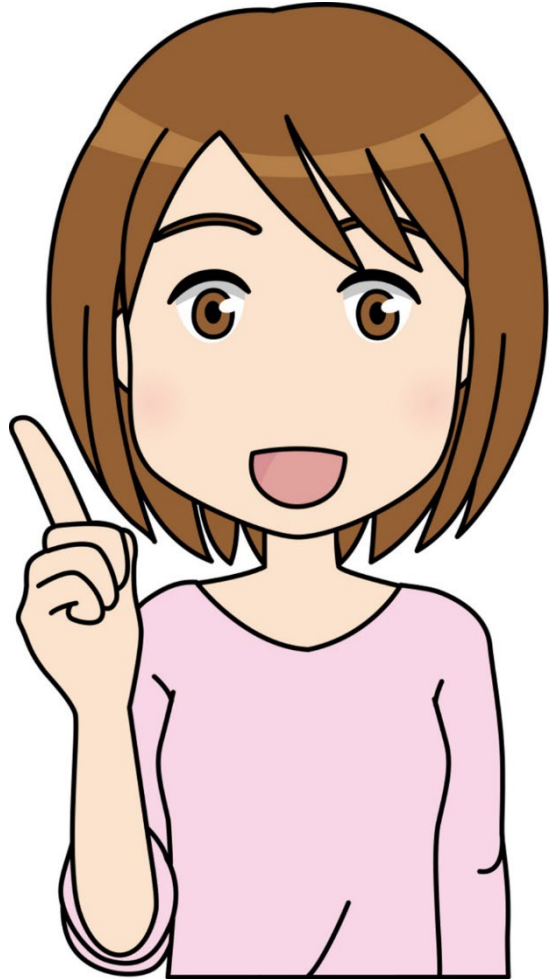
# コーディングの手順 STEP05

【納品】



でも納品してからも運営というサポートがありますので準備をしておきましょう。

# まとめ



00.依頼を頂いた

01.ご提案(企画をまとめる)

02.デザインに必要な素材の作成

03.デザインラフの作成

04.コーディング

- ・コーディングの手順 STEP01 素材の確認
- ・コーディングの手順 STEP02 マークアップ
- ・コーディングの手順 STEP03 CSSでデザインをする
- ・コーディングの手順 STEP04 サーバにテストアップ
- ・コーディングの手順 STEP05 納品